

ごてんば

市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

春
第125号

2025年4月23日発行



春に望む

撮影：御殿場西高等学校 3年 丸山 奏介さん

- 令和7年御殿場市議会新体制 2
- 行政視察・議会報告会、提言等について 3~4
- 代表質問(5会派) 5~7
- 一般質問(8人)、意見書 7~11
- 臨時会、3月定例会(議案の審議結果一覧) 12~13
- 傍聴規則の改正、議長日記、
6月定例会の予定、編集後記 14

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ/図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会
Gotemba City Assembly

御殿場市議会 検索

YouTube

令和7年3月定例会の
一部を録画配信します。
※動画閲覧には通信料がかかります。



ご意見ご質問は
議会事務局へ
ふれあいボックス



令和7年御殿場市議会新体制

2月に役職等の改選があり、正副議長、各委員会の正副委員長が決まりました。



議長

永井

誠一

〈改新〉

このたび議長に選任いただき、改めてその責任の重大さを実感し、身の引き締まる思いでございます。二元代表制の一翼を担う市議会として、21名の議員全員で市民の皆さまに寄り添い、その声を真摯に受け止め、市政の発展と市民福祉の向上に努め、市民の皆さまに開かれた議会の推進に全力を尽くしてまいります。



副議長

川上

秀範

〈新風てんば〉

このたびの臨時会にて副議長に選任いただきました。永井新議長をお支えし、その職務を全うしていく所存です。また、変化の激しい時代において山積する行政課題に対し、当局と共にスピード感をもって対応してまいります。引き続き皆さまのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

常任委員会委員

「その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する」機関（地方自治法第109条）

総務委員会

企画戦略部、総務部、危機管理課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を所管

- 委員長 神野 義孝 〈新風てんば〉
- 副委員長 高木 理文 〈無党派〉 日本共産党
- 委員 横山 大 〈至誠〉
- 委員 菅沼 芳徳 〈改新〉
- 委員 中島 宏明 〈至誠〉
- 委員 勝間田幹也 〈無党派〉
- 委員 林 義浩 〈市民21〉

経済環境委員会

環境市民部、産業スポーツ部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項を所管

- 委員長 田代 耕一 〈至誠〉
- 副委員長 勝又 正人 〈市民21〉
- 委員 森 順 〈無党派〉 参政党
- 委員 永井 誠一 〈改新〉
- 委員 後藤 真弥 〈新風てんば〉
- 委員 辻川 公子 〈無党派〉
- 委員 勝間田博文 〈公明党〉

広報委員会

議会の広報に関する事項を所管

- 委員長 辻川 公子 〈無党派〉
- 副委員長 横山 大 〈至誠〉
- 委員 高木 理文 〈無党派〉 日本共産党
- 委員 森 順 〈無党派〉 参政党
- 委員 後藤 真弥 〈新風てんば〉
- 委員 小林 昌美 〈至誠〉
- 委員 池谷 晴一 〈無党派〉
- 委員 高村 芳章 〈改新〉
- 委員 小林恵美子 〈公明党〉
- 委員 勝間田幹也 〈無党派〉
- 委員 勝又 正人 〈市民21〉

福祉文教委員会

健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項を所管

- 委員長 小林恵美子 〈公明党〉
- 副委員長 高村 芳章 〈改新〉
- 委員 阿久根真一 〈改新〉
- 委員 芹澤 勝徳 〈至誠〉
- 委員 小林 昌美 〈至誠〉
- 委員 池谷 晴一 〈無党派〉
- 委員 川上 秀範 〈新風てんば〉

予算決算委員会

予算及び決算に関する事項を所管

- 委員長 川上 秀範 〈新風てんば〉
- 副委員長 林 義浩 〈市民21〉
- 委員 ほか全議員

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項及び議長の諮問に関する事項を調査し、議案、請願等を審査します。

- 委員長 菅沼 芳徳 〈改新〉
- 副委員長 林 義浩 〈市民21〉
- 委員 小林 昌美 〈至誠〉
- 委員 小林恵美子 〈公明党〉
- 委員 神野 義孝 〈新風てんば〉
- 委員 田代 耕一 〈至誠〉



報告書はこちら

〔視察先：大府市〕

認知症不安セロ作戦について

大府市の介護予防事業は市内にある国立長寿医療研究センターと深く連携し実施されており、特に「コグニサイズ」や「ユニークな介護予防が展開され成果を上げている。一方、課題としては各事業への対象者の参加率が低く、特に男性の割合が極端に低いとのことであった。参加率向上に向けては、自分の健康のためだけでなく「データ収集への協力」という社会的な意識を持つことで参加意識が高まることである。本市においても様々な予防事業を推進しているが、今回の先進事例などを参考に積極的に介護・認知症予防に取り組んでいくことが健康寿命の延伸となり、ひいては介護保険料の抑制にもつながるものと考えている。

※1「コグニサイズ」：Cognition（認知）＋exercise（運動）を表した造語

※2「コグニート」：センターが開発した身体的、社会的参加について高齢者本人が日々の活動を記録する手帳

〔視察先：天竜厚生会（浜松市）〕
社会福祉社について

研修の前後では「福祉とは何か」についての講義があり、そのなかで「ふつうのくらしのしあわせ」それが「ふ・く・し」であり、その幸せを全てのの人に提供することが「福祉事業」であることを改めて認識した。

さらに、福祉は特別な人に対するものではなくお互いの意識的バリアの解消が大切であることを強く感じた。

今後、本市の福祉事業をさらに充実させていくため、対象となる個人の抱えている問題が複雑に絡み合っている現状では、重層的支援をより充実させていくことが肝要であると考えている。

福祉文教委員長（視察時）

阿久根真一



天竜厚生会にて福祉体験



報告書はこちら

「持続可能なにぎわいのあるまちづくり」人が集いつながるつながる御殿場について

委員会テーマを「未来へひらけるまちづくり」とし、SDGs 未来都市として、魅力あるまちづくりを目指し活動してきた。

市民の声を市政に反映すべく、SDGs 未来都市推進協議会委員の皆様にご参加いただいた。

〈基調講演〉

人口減少が社会問題化する中において、北海道千歳市及び長泉町の人口は増加している。

要因はそれぞれあるが、このことを踏まえ、御殿場に生まれ育った子どもたちがこの地に愛着や誇りを持ち、進学などで市外に出ても御殿場に戻り定住してくれる施策が大切と考え、何ができるか検討材料を提議した。

〈グループワーク〉

3グループに分かれ本市の「強み（魅力）」「弱み（課題）」「これからの方策（施策）」を抽出していただいた。

強みは、豊かな自然や道路

インフラ、観光施設の充実、市民の人柄などが挙げられた。

弱みは、公共交通（交通網）が貧弱、観光客の回遊不足、働き場所の不足などが挙げられた。

これらを踏まえ、未来を担う子どもたちのために御殿場に生まれ育ったことに誇りを持ち、地域の魅力を発見し、豊かな未来を創造する仕組みづくりを推進することなどが挙げられた。

〈まとめ〉

参加者から出されたご意見を考慮し、委員会としてまとめ、当局へ申入れしていくこととなった。

（申入れ内容は次ページ）

総務委員長（報告会時）

勝間田幹也



三常任委員会から市長へ提言等を行いました

総務委員会議会報告会に伴う検討の申入れ



総務委員会



「未来を担う子どもたちのために」

- 持続可能な御殿場の未来を創造するために、未来を担う子どもたちが、御殿場市に生まれ育ったことに誇りを持ち、地域の魅力を発見し豊かな未来を創造するために、市内企業・団体と未来を担う次世代が、御殿場の未来を共に創り上げる取組を産・学・官で連携し実施されたい

そのほか、「公共交通(交通網)の充実」「観光客の回遊促進」「働き場所の確保」「地域活動の活性化」について申入れを行いました。

御殿場らしい共生社会のまちづくりについて

～誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会を目指して～



福祉文教委員会



「環境のバリアフリーに向けて」

- 公共施設及び生活道路における歩道や高齢者、障がい者用の駐車場など、今後の共生社会を見据えたインフラに対するユニバーサルデザインを強化すること
 - 高齢者、障がい者など、車を運転できない交通弱者の移動手段となる公共交通機関の整備及びサービスをさらに拡充すること
 - 高齢者の増加に伴い需要が高まる介護福祉施設の拡充及び関係従事者の処遇改善を図ること
 - 子どもたちや高齢者にとって新たな居場所となる地域特性を生かした「子育てサロン」、「高齢者サロン」などへの継続支援及び空白地域への拠点づくりに対して積極的に働きかけること
 - 障がいのある人が差別、偏見なくいきいきと働ける就労環境の整備に向けた合理的配慮に対する啓発活動を推進すること
- そのほか、「教育・文化のバリアフリーに向けて」「心のバリアフリーに向けて」について提言を行いました。



経済環境委員会



新しい力を巻き込み、 活力ある街づくりへ

「地元企業への事業継承支援」

- 製造業や中小企業向けに技術革新やDXを支援する仕組みづくり
 - 既存企業・既存商業店舗への事業継承支援
- そのほか、「未来を担う人材の育成」「中心市街地活性化支援」「人材確保」「地場産業の振興の推進」について提言を行いました。

至誠



田代 耕一
たしろ こういち

代表質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード

勝又市長の施政方針について

問 「第5次総合計画」の策定とこれからの「人口ビジョン」の策定について

答 「第5次総合計画」は本市の今後10年間のまちづくりの未来創造の羅針盤となるものである。「人口ビジョン」は、人口減少時代に歯止めがかからない状態を踏まえ「人口の増加ではなく維持を目指す」という新たな発想に転換していくことも必要と考える。

問 「市役所組織の最適化」について

答 これまでに、8部から7部へスリム化するなど、部の統廃合を含む大規模な組織改編に取り組んだ。7年度は「人口戦略調整監」と「未来戦略調整監」のポストを新たに設ける。

問 「御殿場型NPMの在り方」について

答 職員の意識改革や能力向上を図り、優れた民間手法や経営感覚を取り入れ、市民が幸せを感じる「幸



福感・満足感」を高めていく。新規採用職員にも、御殿場型NPMの研修を行っている。

問 「持続的発展に向けた企画立案戦略の要諦」について

答 若い世代の発想やエネルギーを受け止め、未来に向けた人材の育成を図りながら、目指すべき目標・将来像を見据える。その上で、一貫した「ものがたり性」を築き、御殿場のブランド力を高めていき、さまざまな方向から戦略的で有効な施策を展開していく。

改新



菅沼 芳徳
すがぬま よしのり

代表質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード

市長施政方針について

問 将来を見据えた強固な財政基盤づくりと健全財政の維持について

答 令和7年度当初予算は、安定した財源を確保し強固な財政基盤を堅持しつつ単年度としての予算だけでなく、将来の健全な財政運営を見据えた編成を行った。多額の事業費を組み入れた「新図書館・資料館」及び「富士山木のおもちゃ美術館」における市債の増額計上も公共施設管理計画を踏まえた財政計画や起債計画に基づいたもので、公債費の起債残高・償還額のバランスは保たれている。

問 高齢者の移動支援と公共交通機関の将来ビジョンについて

答 高齢者を含め、市民一人一人が地域の中で活躍し生き生きと暮らせる環境を作っていくことが重要であり、移動手段については、公共交通の空白地域の解消を目指した新たな移動手段としての「ライドシェア」の導入検討に加え、拠点から拠点へ移動する市内

循環バスの導入など特性に合った移動手段の充実を図っていく。

問 中心市街地の整備について

答 多くの市民の声と実践により作り上げた「御殿場駅周辺地域まちづくりビジョン」を強力に推進していく。公共施設や道路などのハード事業のみならず、そこに住む人の幸福度・満足度・安心感を向上させ、誰もが楽しめるまちを目指して庁内関係部署はもとより商工会、観光協会、地域関連団体などと協調しながら推進していく。



御殿場 ミライ会議

新風 ごてんば



市長施政方針について

問 施政方針に込められた市長の思いについて伺う。

答 市民の皆さま、お一人お一人と手を取り合い、心をついにし、明るい未来を創造していただけるよう使命感を持って、施政に取り組む。

問 本市の歴史を鑑み市制70周年を迎え市長の思いを伺う。

答 今日の発展の礎を築かれた先人に深く感謝しつつ、市民の皆さまと共に祝い、未来に向け新たなスタートを切る。

問 新設の人口戦略調整監の具体的な職務について伺う。

答 新たな発想を基に、人口減少対策を庁内横断的に進めていくリーダーとなる。

問 メッセ型多目的展示施設の具体的なイメージを伺う。

答 多くの市民が、イベント・祭り・コンサートなど多種多様の催しが行

神野 義孝

代表質問



でき、災害時の防災拠点となる施設となる。

施設の特徴として、自衛隊との交流、基地のまちの歴史展示施設、自衛官募集窓口、自衛隊総合サポートセンターの設置を計画している。加えて、世界的にも資産価値の高い防衛技術をはじめとした機械産業遺産を常時保管するオープンな専用施設や、広大な敷地を活用し体験会等ができる施設を目指している。

問 実効性ある大規模災害への備えについて伺う。

答 総合防災訓練において、災害対策本部の機能強化と各自自主防災会や協定を締結している団体・企業が参加し、連携をさらに強化して、災害時迅速に対応できる体制を構築する。



市内外の人々が集う防衛技術展示会

市民 21



林

義浩

代表質問



令和7年度施政方針について

問 富士山東麓エコガーデンシティ地域循環共生圏「御殿場型循環モデル」について

答 富士山麓の自治体が生み出す森林由来の「Jクレジット」を地元企業に購入していただき56万円余で売却することができ、その収益は「富士山Gコイン」にて市民へ還元される。御殿場市が牽引し、このモデルを富士山麓4市1町にて共同宣言として採択した。富士山麓地域においては、計画期間全体で10億円にもなる可能性がある。

問 観光交流客数1500万人は、県内でもトップクラスの観光客数である。観光施策について

答 富士山樹空の森、プレミアム・アウトレット、時之栖といった優れた集客力を有する観光拠点がトライアングル連携となつて、観光客の獲得、周遊に大きく貢献している。プロジェクトチームを設置して、現在進めている大型公共施設の整備は、こうした既存施設との連携をさらに広げ強固にし、観光

客の新規獲得、魅力発信に間違いなく貢献する施設であり、産業経済全面にわたって、必ず本市を潤す施設となる。

問 「子どもを産みたいという希望を後押しできる環境づくり」について

答 子ども医療費完全無償化、出産祝い、学校給食費の助成等の経済的支援、保育園や放課後児童クラブ待機児童実質ゼロや発達支援センター等相談者目線に立った心で支える体制を強化し、子どもに関わる皆さまと優しい子育て施策を展開する。



小山町・御殿場市・裾野市・富士宮市・富士市
富士山麓の森林を守り
「Jクレジット」により脱炭素を促進する共同宣言

公明党



勝間田博文 ひろふみ

代表質問 YouTube モバイルサイト QRコード

令和7年度市長施政方針について

公平性、平等性の観点から、0歳から2歳までの第一子からの保育園の無償化について見解を伺う。

令和6年度からは、新たに18歳未満の子ども医療費無償化とおやつ代を含めた、第二子以降保育料の完全無償化を実現した。0歳から2歳までの第一子への保育料等の助成については「全ての子どもに対する平等な支援」という視点は本市にとって重要であると考え。財政状況をしっかりと踏まえた上で、助成の方法等について、今後前向きに検討していく。

問 「不妊治療の拡充」について伺う。

本市では、不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療費の助成をしている。令和4年4月から、一部保険適用になり、県も令和6年4月から、先進医療に係る費用の助成制度を創設するなど、不妊治療に対する経済的負担の軽



減に向けた動きが進んでいる。利用者ニーズを的確に把握して、必要に応じた助成金額の見直しも含めて、御殿場らしい施策を、今後も着実に進めていく。

問 インクルーシブ社会への見解について伺う。

持続可能な社会を目指す「SDGs未来都市」の本市にとって、インクルーシブ社会の実現は、大変重要な考え方であると認識している。さまざまな違いを認め合い、共生していく社会、全てを包み込む「誰一人取り残すことのない」情のある社会を、「SDGs未来都市御殿場」として実現していく。

地域防災力の強化について

現在、河川ライブカメラは神山の中央橋の1基のみであるが、今後の見通しについて

市の要望に基づき、令和7年度当初に、黄瀬川流域にある大坂(まるとけ)の丸嶽橋に県が設置する予定である。

問 防災士の資格取得のための研修の現況について

平成30年からは、裾野市、小山町との駿東二市一町地震対策協議会の枠組みにより、「二市一町地域防災指導員養成講座」と称して研修を行い、平成30年度に御殿場市で、令和4年度にコロナ禍により1年遅れて小山町で行い、令和7年度は裾野市で開催する予定である。

問 高齢者の避難行動要支援者の名簿と個別避難計画の作成の現状について

令和6年10月現在、高齢者の避難行動要支援者は988人で、



勝又 正人 まさと 市民21

一般質問 YouTube モバイルサイト QRコード

そのうち、自主防災組織が持つ要支援者名簿に掲載されている方は644人で要支援者の65.2%である。また個別避難計画を作成することに同意した方が572人で名簿掲載者の88.8%である。

災害発生時に備え、あらかじめ情報提供不同意者を地図にマーキングしておくという提案について

住所だけではわかりにくい要支援者の居場所が地図上で確認できると、支援の迅速化につながる。現在、土砂災害警戒区域に関しては、地図へマーキングして保管されている。市内全域については、来年度のシステム導入により、要支援者が地図上に可視化できるような仕組みを検討していく。



県が設置している河川ライブカメラ



小林 昌美 まさみ

至誠



国立駿河療養所について

問 国立駿河療養所の所歌を後世に残すことについて

答 神山小学校6年生の交流学習にて、所歌を取り上げる機会を設け、理解が深まる取り組みを進めていく。また、国立駿河療養所内に歌碑を設置することを国へ要望していく。

問 国立駿河療養所の取付道路を市道認定することについて

答 市が私道を市道認定する場合、私道の市道認定要綱に基づき条件が整えば認定している。国から要件があれば柔軟に協議していく。

問 国立駿河療養所の職員等の雇用が危ぶまれていることについて

答 市としても国と情報を共有し、転職を希望される方には、適宜案内できるようにしていく。

問 国立駿河療養所の不利用建物の有効利用について



療養所からみた富士山

答 民間業者から借用または購入したい旨の申し出があれば、国立駿河療養所へ仲介する。また、公共施設としての利用については、地域の要望を調査し、必要性を検討していく。

問 新たな国立駿河療養所将来構想検討案の策定について

答 将来構想検討委員会で検証し、その検証結果に基づき諸課題について、将来構想案を改定する際には検討していく。また、提案のあった実行委員会の必要性についても検討していく。最後の一人になっても安心して暮らせるよう、国立駿河療養所内の医療や住環境の充実を強く国に要望していく。

GOTEMBA MIRROR PROJECTについて

問 アントレプレナーシップ教育の目的について

答 アントレプレナーシップは、自らの意思で未来を切り開く力を意味し、起業家精神とも訳される。GOTEMBA MIRROR PROJECTでは、若者が地域の課題解決に自ら挑むことを通じ、御殿場の未来を担う人材を育成することを目的としている。

問 アントレプレナーシップ教育の環境整備について

答 このプロジェクトは、しずおかフィナンシャルグループを受託者とし、同社と提携する東京ガールズコレクションの運営者「W-TOKYO」と連携して進めている。これによりアントレプレナーシップ教育にふさわしい多様な講師陣の起用が可能となった。高校生たちは、各界のプロや地元先の駆者等、多様な講師から大きな刺激を受け、意欲的に体験を重ねている。



後藤 真弥 しんや

新風 ごとんぼ



問 プロジェクトの取り組み評価について

答 高校生たちは、農家への聴き取りや市民へのアンケートを通じて得た課題意識をもとに、様々なアイデアを提案し、解決に向けた試作品を生み出している。年間を通じて各班が取り組んできた「農業と食に関する課題解決」の成果発表が、令和7年3月22日に行われる。参加者アンケートからも、「地域の未来は自分たちが変えていくと思う」「いつか御殿場地域へ帰ってきたい」という声が出ており、プロジェクトの手ごたえをつかんでいる。





森

順 じゅん

無会派
参政党

一般質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード

地球温暖化対策(ゼロカーボンシティ)の現状と方向性について

問 ゼロカーボンシティ挑戦を表明した目的について

答 国際社会の一員として、また、世界遺産富士山の麓にふさわしいエコガーデンシティを目指し、SDGsに取り組み都市として、市民や事業者と共に脱炭素社会の実現に貢献することを目的としている。

問 改善点に関する市民や事業者からの意見・要望について

答 市民懇話会やアンケート等、さまざまな機会を通じて何一つおき、その中で地球温暖化問題や対策の必要性、生態系を保全することの重要性等も伺っている。また、一部の地区からは、民間事業者による太陽光発電施設の設定及び設置後の管理について不安を感じるといったような声も頂いている。現在、自然環境と調和した再生可能エネルギーの導入のための例規等の整備に向け、準備を進めている。



問 より効果的な取り組みへの転換の可能性について

答 新しい制度の構築や新技術の開発、脱炭素市場の拡大が想定される中、より効果的な取り組みへ転換していくことは必要であると考えている。

市民生活や事業活動のあらゆる場面で対策が求められており、行政、事業者、市民ほか、さまざまな主体がそれぞれとして、また、連携・協働して取り組むことが求められている。市はあらゆる主体との連携を図り、ゼロカーボンシティ実現を目指していく。



阿久根 真一 あ ぐ ね し ん い ち

改新

一般質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード

御殿場市が目指す共生社会への取り組みについて

共生社会の風土醸成にあたりそれを阻む3つの大きな障がいとなる環境・教育(文化)・心への対応について

問 「環境のバリアフリー」
自治区に移動支援がない空白地域における現状を伺う。

答 高齢者にはバスタクシーの利用助成を、重度障がい者の方にはタクシーの利用助成を行っている。また、市内全域を対象にした運転ボランティアたんぼの会員の移動支援サービスがある。各地域の移動支援は、新たに複数の区で、活動の立ち上げ準備が進んでいる。

問 「教育のバリアフリー」
過去において偏見・差別の対象とされていた歴史をもつ国立駿河療養所や復生記念館を本市独自に共生社会のシンボルとして位置づけてはどうか。

答 両施設は既に「共生社会」のシンボリックな位置づけであると認識



登録有形文化財
神山復生病院事務所棟(現 復生記念館)

問 「心のバリアフリー」
インクルーシブを考えるとされれる1月20日の週を共生社会のまちづくり週間として掲げることについて伺う。

答 当市では毎年、障害者週間の12月3～9日と人権週間の12月4～10日に併せて啓発パネルの展示、啓発品の配布等を行っている。共生社会のまちづくり週間については、日程や必要性も含め今後検討していく。



小林恵美子 えみこ
公明党



認知症の人に寄り添った地域 社会の構築について

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る上で「あなたを大切に思っている」ことを相手が理解できるように届ける技法の「ユマニチュード」が注目されているが、普及について伺う。

答 ユマニチュードは単なる技法ではなく、人と人との関係性を深めるための哲学を持ち、相手の尊厳を重んじ、コミュニケーションを通じて心がつながることを目的としている。特に認知症の方々に対して効果的であるとされている。ケアマネージャーや介護サービス事業所、社会福祉士等関係する多職種との勉強会の中でユマニチュードを学ぶ機会を提供する。また、認知症サポートー養成講座の中で学ぶ機会を提供できるように検討していく。

問 認知症予防施策と事業効果について伺う。

答 脳の機能低下予防を目的とした「脳いきいき講座」では、初めに最後に認知検査を行い、軽度の認知障



害が認められた参加者では、12回のプログラム受講後に改善効果が確認されている。気になる方は、医療機関受診の勧奨など、適切な支援につなげている。

問 本市の認知症施策推進計画策定について伺う。

答 認知症施策を積極的かつ効果的に進め、本人や家族を社会全体で支えるための基本計画として令和9年度から11年度を計画期間とする次期の高齢者福祉計画策定にあわせ、認知症施策推進計画を策定できるよう取り組んでいく。



高木理文 まさみ
無会派
日本共産党



避難所運営と被災者支援の 改善について

問 避難所におけるペットの受け入れ態勢を整備する上で、ボランティアリーダーの育成が欠かせない。本市の現状と課題について伺う。

答 現在7名のボランティアリーダーが登録されている。今後は、活動内容や役割を市ホームページ等を通じた情報発信を行い、各地域の自主防災会と連携し、ペット同行避難に関する講習会を実施するなど、市民への普及啓発に取り組む。

問 スフィア基準の普及促進を図る当局の見解を伺う。

答 避難所の運営において、スフィア基準の適用は非常に重要な取り組みであり、避難者の人権や尊厳を守るための基本的な行動規範として位置づけられている。スフィア基準を生かすための取り組みは①自主防災会など避難所関係者へのスフィア基準の理解②避難所の生活環境改善の推進③市民へのスフィア基準の普及促進、以上の3点である。

下水道の老朽化対策について

問 本市の今後の老朽化対策はどのように進めるのか伺う。

答 耐用年数を超える管渠は、点検や調査結果を基に、硫化水素による劣化が見受けられた箇所については、必要に応じて部分的な補修や、管路更生を行っている。ストックマネジメント計画に基づき、対策を進めていく。



永原区地域防災訓練モデル地区訓練における
ペット同行避難訓練の様子



辻川 公子
きみこ

無党派

一般質問
YouTube
モバイルサイト
QRコード

人口減少社会における御殿場市の諸課題について

問 本市の20年後の人口と出生者数の推定は。

答 将来推定人口2045年7万2863名。0歳から4歳までの推定人口は、現在より25%減の推定である。

問 2001年市民1人あたり一般会計予算額35万9千円余、2025年は54万2千円と増えた背景は。

答 市民サービスの提供・国策を含む各種事業を着実に実行してきたことにより増加した。

問 令和4年御殿場市「財政状況資料」のうち実質公債費比率構造によると、「本市の特徴として単独事業債や防衛関連補助金を財源とする事業債が多い。今後大規模建設事業を複数予定しているのので、事業費縮減・平準化に努める。」との記載に対する検証と今後の見解は。

答 人口減少社会が進む中、適切な将来投資を行いつつ、負担軽減

を図り、中長期的視点に立ち、健全財政に努める。

問 世界と日本中の人口減少対策として、出生数増加の成果がある先例事例の子育て施策を本市が網羅し「出生数が増え続ける御殿場」への見解は。

答 今後、若い世代が思い、感じていることを机上でなく、若者が本当に必要とし、本市の魅力向上につながる施策とする。

問 出生数減少の中、学校の統廃合や教育行政の方向性は。

答 学校の統廃合は現時点では考えていない。学校選択制をはじめとした学区に関するものは、地域行政と熟議のうえ検討すべき課題と捉えている。



御殿場市内最大校
「御殿場小学校」(令和6年度:984名)

意見書

[提出先] 衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／文部科学大臣

「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」

を提出しました。

令和2年に改正された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の附帯決議に基づき文部科学省が実施した教員勤務実態調査によると、教員の長時間勤務について一定程度の改善は見られるものの、依然として歯止めがかからない状況にあり、時間外勤務の削減や業務量の軽減など働き方改革のさらなる推進が求められる。また、教員のそうした職場環境が影響し、平成12年度に13.3倍であった全国の教員の採用倍率は、令和5年度は3.4倍と年々低下している。

このように、教員不足が全国的な問題となる中、静岡県内においても定数未配置の学校が存在しており、教員の人材確保は喫緊の課題である。とりわけ、今後の教育界を支える志ある優れた人材を確保していく必要があり、そのためには教員の働き方改革等を進め、子供たちが教員の仕事に魅力を感じるようにする必要がある。

よって国においては、公立の義務教育諸学校の適正教員数を維持・確保していくため、下記事項に取り組むよう強く要望する。

- [1] 校務のDXによる業務効率化や業務内容の見直しを進めるなど、さらなる働き方改革の推進を強力に支援すること。
- [2] 教職調整額を直ちに引き上げるとともに、時間外勤務を抑制するための法整備を進めること。

臨時会で決まったこと



臨時会

議案書等資料については
ホームページに掲載しています

令和7年
第1回

議案の審議結果一覧

全会一致で可決等された議案

承認	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度御殿場市一般会計補正予算(第8号)について)
報告	専決処分の報告について(御殿場市管住宅の滞納家賃等の支払に関する和解申立てについて)
選任・選挙 [5件]	御殿場市議会広報委員会の委員の選任について
	御殿場市議会議会運営委員会の委員の選任について
	議長の選挙について
	副議長の選挙について
	駿東地区交通災害共済組合議会議員の選挙について

臨時会とは? 定期的に開かれる「定例会」と違い、必要に応じて開かれる議会を「臨時会」といいます。

3月

定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧

賛否が分かれた議案	高木 理文	森 順	阿久根 真一	永井 誠一	後藤 真弥	芹澤 勝徳	小林 昌美	横山 大	辻川 公子	池谷 晴一	菅沼 芳徳	高村 芳章	川上 秀範	中島 宏明	小林 恵美子	勝間田 博文	勝間田 幹也	勝又 正人	林 義浩	神野 義孝	田代 耕一	
○…賛成 X…反対 ※議長(永井 誠一)は採決に加わりません。																						
御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決	X	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度御殿場市一般会計予算について	可決	X	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度御殿場市救急医療センター特別会計予算について	可決	○	X	○	※	○	○	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度御殿場市公共下水道事業会計予算について	可決	X	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市立図書館及び御殿場市富士山市民のサロンの指定管理者の指定について	可決	X	○	○	※	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高額療養費制度の自己負担限度額引上げに反対する意見書の提出について	否決	○	X	X	※	X	X	X	X	○	○	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

市議会ホームページへ議案資料等の掲載を始めました。議案の内容を確認したい場合にご活用ください。



定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧



3月 定例会

議案書等資料については
ホームページに掲載しています

全会一致で可決等された議案	
予算 [13件]	令和6年度御殿場市一般会計補正予算(第9号)について
	令和6年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について
	令和6年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第2号)について
	令和6年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
	令和6年度御殿場市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
	令和7年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について
	令和7年度御殿場市介護保険特別会計予算について
	令和7年度御殿場市後期高齢者医療特別会計予算について
	令和7年度御殿場市上水道事業会計予算について
	令和7年度御殿場市工業用水道事業会計予算について
	令和7年度御殿場市簡易水道事業会計予算について
	令和7年度御殿場市農業集落排水事業会計予算について
	令和7年度御殿場市公設浄化槽事業会計予算について
条例 [17件]	御殿場市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市議会の議員に対する議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市手数料条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市営住宅条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市学校法人助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
御殿場市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	
御殿場市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	
御殿場市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	
事件議決 [5件]	市道路線の廃止について
	市道路線の認定について
	市道路線の変更について
	防災行政無線施設(簡易型戸別受信機)の取得について
	板妻南工業団地開発第4期事業地内の用地処分について
同意 [3件]	御殿場市外1組合公平委員会委員の選任について
	御殿場市農業委員会委員の任命について
	御殿場市教育委員会教育長の任命について
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について
選挙	静岡県芦湖水利組合議会議員の選挙について
報告 [2件]	専決処分の報告について(御殿場市営住宅に係る建物明渡等請求事件の提訴について)
	専決処分の報告について(御殿場市営住宅に係る建物明渡等請求事件の提訴について)
議員提出議案	公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書の提出について



御殿場市制施行・財産区設置
70周年記念式典
令和7年3月22日(土)

議長日記



「御殿場市制施行・財産区設置70周年」記念式典が、多くの皆さまにご出席いただき、開催されましたことに、心よりお礼申し上げます。御殿場市及び市内各財産区の、先人のご労苦に感謝するとともに、今後御殿場市がますます繁栄し、活力あるまちであり続けるよう、議員全員で力を尽くして取り組んでいく所存でございます。

御殿場市議会議長 永井 誠一

傍聴規則を 改正しました



これまで児童及び乳幼児が会議を傍聴するには議長の許可が必要でしたが、その条文を削除したため、これからは児童及び乳幼児も受付のみで傍聴できるようになりました。

御殿場市議会は、子育て世代の傍聴や主権者教育をこれからも推進していきます。



正式な会期日程は、直前の議会運営委員会で決定されます。詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください。
※市議会ホームページにも掲載しています。
いずれの日も傍聴することができます。当日、市役所東館3階の議会事務局で受付をしております。



18 水	12 木	11 水	5 木
追加議案の審議 採決	一般質問	一般質問	議案の審議・採決

6月
定例会
の予定

6/5~18 (14日間)
時間はいつでも 午前10時~

御殿場市議会広報委員会

〈委員長〉辻川 公子

〈副委員長〉横山 大

〈委員〉

- 高木 理文 / 森 順 / 後藤 真弥
- 小林 昌美 / 池谷 晴一 / 高村 芳章
- 小林恵美子 / 勝間田幹也 / 勝又 正人



編集後記

3月定例会は、2月20日から始まり3月24日まで開催され、当初予算や条例等、審議されました。
また、5会派が代表質問、8名が一般質問を行い、「市長施政方針」や各分野の市政の現状や課題・方向性をたじました。当広報委員会も市民の付託に応え、市民の立場に立って取り組む姿勢を強化するために、広聴機能の強化・拡大に努め、市民の皆さまからの意見を議会に反映すべく、新委員一同、本年度も活動させていただきます。

広報委員長 辻川 公子